

令和6年度 グリーン・サポート・スタッフの活動開始

～貴重な森林生態系を次世代に受け継ぐため～

置賜森林管理署では、毎年「吾妻山周辺森林生態系保護地域」「飯豊山周辺森林生態系保護地域」を対象に、貴重な森林生態系を保全するため、森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ）による巡視活動や、利用者へのマナー啓発活動を行っています。

今年度は、一般市民から応募のあった4名（飯豊山周辺2名、吾妻山周辺2名）で、登山者や利用客が増える6月から10月にかけて活動します。

活動に先駆け、6月20日に辞令書交付、安全教育、グリーン・サポート・スタッフとしての心構え等の講習を行い、午後からは、活動区域の一つである「森林セラピー基地温見平（ぬくみだいら）（※）」において巡視や啓発活動を実践しました。



任命式(安全教育)



登山者カウンターの設置

温見平には、平日にもかかわらず森林浴を楽しむ人たちが多く訪れており、そうした方々から、登山者カウンターの設置や看板補修の作業中にも声をかけられることもありました。そんな時は、会話を通して交流を図るとともに、チラシを配布するなどしてマナー啓発を呼びかけます。



散策中の高校生との交流



登山道入り口からの風景

登山客が増えるこれからの時期、グリーン・サポート・スタッフは、貴重な植物の盗掘や植生荒廃を防止するため、登山道を中心に保全巡視活動やマナーの啓発活動を行います。

— 置賜森林管理署：森林技術指導官 —

(※) 森林セラピー基地温見平とは、森林が持つ癒し効果でストレス解消や健康増進を目的とした森林で、平成18年に日本初の森林セラピー基地として認定されました。また「温見平風致探勝林」は、モデル的なレクリエーションの森として「日本美しの森お薦め国有林」にも選定されています。